

「環境共生都市『ながの』の実現」を目指して!

「SDGs未来都市ながのReport」では、環境共生都市「ながの」の実現に向かって共に活動を展開する企業や団体にスポットを当て、各主体の様々な取り組みについて、市民の皆様を紹介し、パートナーシップによるまちづくりを推進していきます。

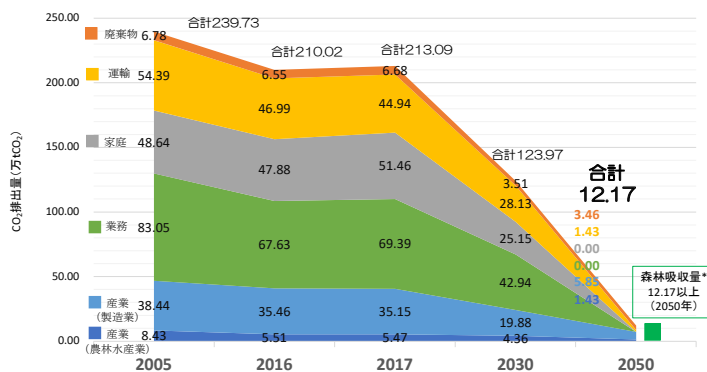
※「SDGs未来都市」とはSDGsの達成に向けた優れた取組を提案する都市として国(内閣府)が選定するもの。

長野市SDGs未来都市計画

【目標3】 脱炭素社会の構築と地域経済への波及

バイオマス発電、太陽光発電、小水力発電などの地域の特性にあった合った再生可能エネルギーを積極的に導入し、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「脱炭素社会の実現」に貢献します。

長野市における2050年ゼロカーボン達成へのシナリオ(「第三次長野市環境基本計画」より抜粋)



排出される二酸化炭素量を「森林吸収量」以下に

- 市内で消費するエネルギーを最大限削減
- 再生可能エネルギーを拡大
- 二酸化炭素の吸収源となる森林の適切な管理と利活用を推進

2050年に実質的なゼロカーボンを目指します。

長野地域連携中枢都市圏の全市町村が「2050ゼロカーボン宣言」を行いました!

長野地域連携中枢都市圏の市町村[※]は、地域の特性を生かした温暖化対策を講じるとともに、脱炭素事業を共同で創出・実施し、長野地域全体で脱炭素化を推進していきます。

※長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、小川村、飯綱町

具体的な取組

- 「長野市バイオマス産業都市構想」事業の原料調達、燃料利用を拡大
- 長野地域全市町村と日産自動車グループで結んだ連携協定を基に、EVを活用したレジリエンス強化を展開
- 低炭素電力の共同購入を促進



特定非営利活動法人 CO2バンク推進機構

設立 2003年11月25日 **代表者** 理事長 宮入 賢一郎
住所 〒381-2217 長野市稲里町中央三丁目33番23号
TEL 026-285-5370 **FAX** 026-254-6155
mail co2bank@nifty.com **HP** <https://www.co2bank.org/>

CO2バンク推進機構は、地球温暖化防止と持続可能な地域社会の構築をめざし、再生可能エネルギーや省エネルギーの技術開発・普及活動及び技術支援、環境教育、ピオトープやエコロジーネットワークによるエコアップ、行政と市民の協働事業の企画・運営等の事業を行い、地域社会の経済振興と地球環境保全の推進に寄与する公益活動に取り組んでいます。

ゼロカーボン長野プログラム

2050ゼロカーボンのメッセージを浸透させ、ともに実践行動できる地域づくりに取り組むことを目的に開催しました。この活動は長野県の「令和3年度 地域発元気づくり支援金」を活用し、行政・関係団体・市民有志などの幅広い主体に協力を呼びかけながら、ゼロカーボンやグリーンインフラのムーブメントを地域から発信する取り組みです。

グリーンインフラ体験〈場所／長野駅善光寺口駅前広場〉

日光に照らされて熱くなった舗装やエアコンからの熱風などで、市街地の温度が急上昇する「ヒートアイランド現象」は、芝生や樹木など緑を増やすことで緩和されます。緑のスペースは、雨水を浸透させる役割もあるので、大雨の時も防災面で役立ちます。

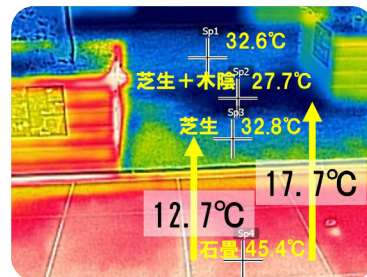
グリーンインフラ体験コーナー

6.45m×6.45mの石畳の舗装スペースに、厚さ3cmの芝生を植え、その下に2cmの貯排水ボード、遮水シートを設置。さらに3m以下の中木と低木が植えられた樹木コンテナを6カ所に設置しました。



芝生と木陰の効果

サーモカメラで測定したところ、石畳のほうが芝生より平均12.0℃温度が高くなりました。今回の条件では、芝生には12.0℃地表面の温度を下げる効果が確認されました。



リサイクルラボ〈場所／長野市リサイクルプラザ〉

ゼロカーボン社会を実現するための一つにリサイクルがあります。「リサイクルラボ」では、食品ロス(フードロス)や食品残渣を理解するための講座や、剪定枝葉の分別、牛乳パックの再利用など、身近なテーマで楽しみながら学べるプログラムを開催しています。



- マイ食器づくり
- 剪定枝の再利用「マグネットクリップ作り」
- 玉ねぎの皮などの草木染め体験
- 紙すき体験「うちわ作り」

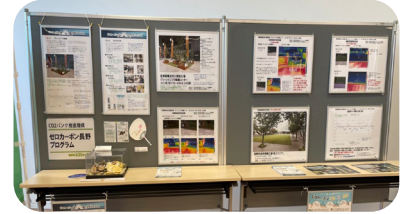
体験を通してリサイクルを学ぶ

さまざまな体験に加えて、ゼロカーボンやリサイクルの意味などをわかりやすく説明し、クイズに答えてもらうことで、関心と理解を深めてもらえる講座を開催しました。このような体験講座やイベントなどを企画、運営しています。

ゼロカーボンさみっと2021〈場所/エムウェーブ〉

ゼロカーボンのムーブメントとなる普及啓発活動として「ゼロカーボンさみっと2021」を開催。展示や体験コーナーのほか、ゼロカーボンクラフト教室、エコマラソン長野2021などの共催、出展により、ゼロカーボンやグリーンインフラの推進に取り組みました。イベント運営は、当NPO法人のプロジェクトである自然エネルギーや省エネエネルギー、都市緑化といった活動と、これに関係する諸団体の協働により、2000人を超える波及効果がありました。活動の成果をパネルや冊子にまとめ、『ながのエコウィーク』や長野合同庁舎ロビーなどで展示しました。

- ゼロカーボンの呼びかけと資料、情報提供
- ゼロカーボンを知ろう！（展示・体験）
- 省エネ・エコドライブ（展示・体験）
- 自然エネルギー体験・ゼロカーボンクラフト教室
- さまざまな自動車と環境保全・防災（展示・体験）
- グリーンインフラ資材パネル展示（展示・体験）



新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で展示と体験を実施しました。

ドライブスルー方式などで、資料配布や呼びかけによる普及啓発活動を行いました。展示コーナーではライブ配信や収録配信を行い、専用WEBサイトでの情報提供など、普及啓発活動を実施しました。

ゼロカーボンさみっと2021×エコマラソン長野2021 WEB版 ▶ <https://www.co2bank.org/pr-zero-web/zero21web.htm>

長野市リサイクルプラザ

平成18年度から指定管理者として施設運営、イベントや講座などの企画・実践に取り組んできました。平成30年3月1日に、「サンマリーながの」と一体となった施設としてリニューアルオープン。現在も当NPO法人のスタッフが常駐して運営を支援しています。

リサイクル広場

「捨ててしまうにはもったいない」「まだ使えるけど自分ではもう使わない」そんな家具や自転車、日用品などをリサイクルプラザで引き取り、点検・洗浄・修繕を経て、希望者に低価格で販売しています。

- 1 回収・収集／家具、自転車、日用品（食器・タオルなど）をお持ち込みください。回収もいたします。
- 2 点検・洗浄・修繕／完了したものを順次展示していきます。展示室はいつでもご覧いただけます。
- 3 リサイクル広場展示申込み／年6回程度開催。応募期間中にプラザにて抽選券又は入札券をご応募ください。
- 4 抽選／厳正な抽選を公開にて行います。当選者にはハガキで通知します。
- 5 引取り／抽選券の控え、当選ハガキ、代金をお持ちの上、引取りにお越しください。



おさがり交換会

おさがり交換会は、まだまだ使えるベビー、キッズウェアや絵本など、子育て中に必要な品全般をリユースする活動です。参加無料、事前申込は不要です。

- 交換の場合
持ち込んだ品と同じ数の品を無料で交換できます。（数に制限がかかる場合あり）また、持ち込む品がない場合は3点100円で提供しています。



即売品・持ち帰り品コーナー

市民の皆さまからご提供いただいた、まだ使える家庭の不用品などを販売、または無償で持ち帰りできるコーナーです。

リサイクルプラザ 〒381-0026 長野市松岡2丁目26番7号 TEL026-222-3196 FAX026-221-2033 <https://www.sm-nagano.com/recycleplaza>

その他のプロジェクト

雨水循環利用プロジェクト

雨水を有効利用して、環境にやさしい地域循環型の社会を目指しています。貯留タンクは環境保全、防災等にも役立ちます。



森のエネルギー推進プロジェクト

木質系バイオマスであるペレットと、これを利用するストーブ等の普及により、森と街を資源循環でつなぎます。間伐や薪を作るイベントも開催しています。



緑花・緑育プロジェクト

市民や関係団体、行政、学校、企業等と連携し、景観・環境保全に貢献する都市緑化を推進しています。



ながの環境エネルギーセンター

住所 〒381-0026 長野市松岡二丁目27番1号 TEL 026-222-5301

HP <https://ecohitz-nagano.ekankyo21.com/> 竣工 2019年3月

規模・構造 地下2階、地上5階 延床面積 24,551㎡

処理方式 ストーカ式焼却炉、電気式(プラズマ)灰溶融炉

処理能力 [焼却炉] 405t/日 (135t/日×3炉) [灰溶融炉] 22t/日×2炉

ながの環境エネルギーセンターは「未来に向けて突き進む『サステナブルEco Ship』～エネルギーと資源が循環する施設をめざして～」をコンセプトに「地域の低炭素化に向けた電力の地産地消」、「溶融スラグの有効利用、焼却残渣の資源化による資源循環の促進」、「地域の防災拠点」、「環境教育の起点となる施設」を特徴とする施設として2019年3月に竣工しました。

長野市を含む6市町村から出た可燃ごみを処理しており、ごみを燃やす際に排出される「熱(蒸気)」を利用してタービンを回し、発電を行っています。電気は、エネルギーセンターで使用されるほか、長野市立の小中学校・高校(80校)や福祉施設に供給され、電力の「地産地消」を実現しています。また、一部は熱交換を行い、隣接するプール「サンマリーンながの」に供給されています。

ごみ発電からの電力購入モデル事業

ながの環境エネルギーセンター



サンマリーンながの

蒸気の一部は、温水として「サンマリーンながの」に供給しています。



- 長野広域連合のごみ焼却施設
- 焼却余熱を発電や熱利用

発電出力

7,910kW

年間供給量(R2)

4,010万kWh

焼却能力

405t/日

電気

市立小中学校・高校
80校、
福祉施設

年間電気使用量(R2)

1,249万kWh

契約

電気小売事業者

主な業務

- 電力の調達・供給
- 電力の需給管理
- 常時監視、緊急時の対応 (365日24時間)

契約

あなたの近くの「SDGs活動」大募集!

SDGsの推進活動を展開する企業や事業所、学校などを募集しています!

お問い合わせ

長野地域連携中枢都市圏 事務局

(長野市企画政策部 企画課)

〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地

Tel:026-224-5010 Fax:026-224-5103

●長野市ホームページ内 長野市企画政策部 企画課の「お問い合わせはこちらから」(Eメールアドレス kikaku@city.nagano.lg.jp)でも受け付けております。